

1986年九州地域の気象概況

1. 冬型気圧配置で寒さ続く1・2月

元日は西高東低の冬型気圧配置の中にあつて、曇時々雨、ところによっては雪も降る年明けとなつた。上旬は冬型気圧配置が続き、5～6日には寒気が南下して各地で降積雪があり、6日には鹿児島市で21cm、佐賀で12cm、長崎で10cmの積雪を見た。このため、鹿児島、佐賀、長崎の各県で農作物に被害があつた。また、大分の上旬の平均気温、最高気温は低温の累年第一位となつた。中旬に入つて冬型気圧配置は緩み、大陸からの高気圧の張出しや気圧の谷の通過もあつたが、全般的には移動性高気圧に覆われた晴れの日が多く、このため日照時間は平年よりかなり多かつた。下旬には再び西高東低の冬型気圧となり中・北部で粉雪やみぞれが降つたが、南部と東部では晴天が続いた。

このように月を通して冬型気圧配置の日が多かつたため、月平均気温は平年よりかなり低い～やや低く、佐賀、長崎、飯塚等では低い値の累年記録を更新した。

2月初めは移動性高気圧に覆われて、穏やかであつたが、3日ころから寒冷前線の南下後冬型気圧配置が強まり中・北部では小雪が降つたが、上旬は低温少雨傾向が続いて、日照時間はかなり多かつた。11日は寒気が流れ込んで不安定な天気となり、くもり、雨とところによって雪が降つて、中・北部では1月18日以来1mm以上の降水量となつた。中旬は冬型気圧配置がくずれ、移動性高気圧に覆われる日や気圧の谷の接近、低気圧の通過があつて天気は不安定で、寒暖の変化が大きかつた。中旬末から下旬初めにかけては冬型気圧配置が続いて、寒気が流れ込み気温は低目に経過して、24日には北部九州の平地で1～9cmの積雪があつた。

月平均気温は全般に平年よりかなり低く、 $-1.4\sim-3.0^{\circ}\text{C}$ の平年差で、日照時間は九州本土の内陸部でかなりの多く、都城では多い値の、沖永良部では少ない値の累年極値を更新した。

2. 遅い春一番と寒暖変化の3・4月

3月のはじめは冬型気圧配置となり、気温も下がり雪の降つたところが多かつた。3日には冬型気圧配置も緩み、その後は移動性高気圧に覆われて晴天が続いた。9日には低気圧が日本海に発達して強い南風が吹き、九州北部では平年より14日、昨年より28日遅く春一番となつた。気温も上がり福岡の平均気温は 14.9°C で4月中旬並の暖かさとなつた。その後中旬から下旬にかけては低気圧と高気圧が交互に通過して短い周期で天気が変わり、14、22日には低気圧の通過で全域でまとまつた雨が降つて、気温も平年並に上がった。22日に鹿児島で開花(そめいよしの)した桜前線は29日には福岡まで北上したが平年日と同じで、昨年より3日早かつた。

月の降水量は大分で平年よりかなり多く、日照時間は熊本、宮崎で平年よりかなり多く他は平年並かやや多かつた。

4月に入つても天気は短い周期で変化する経過が続き、1日、2日、5日から7日は移動性高気圧に覆われて、朝方は放射冷却現象で北部九州の内陸部を中心に冷え込み、1日には黒木、日田では最低気温が -0.1°C を記録して、各地で降霜が観測された。10日は前線が九州北部から南部へ南下して各地で雷雨となり $40\sim60\text{mm}$ のまとまつた降雨があつた。中旬の天気は短い周期で変化して、14日から15日は低気圧が対馬海峡を通過して、南よりの風が強まり気温が上がつた。後半の17日から22日にかけて前線が九州南海上に停滞して、前線上を低気圧が通過して雨が降り、奄美地方と鹿児島県の離島で一時強く降つた。23～25日には高気圧に覆われて、最高気温も 25°C 以上のところが多く、6月下旬並の陽気となつた。下旬の後半は気圧の谷の通過や寒冷前線の南下によって天気はぐずつた。

月平均気温は全域的に平年より高く鹿児島、宮崎ではかなり高かつた。

3. 間欠型降雨と梅雨の局地的大雨の5・6月

5月上旬の前半は低気圧や気圧の谷が九州付近を通過して天気はぐずつき各地でまとまつた雨が降つた。7～9日は帯状高気圧に覆われて晴れたが、奄美地方では前線の影響で天気はぐずつた。中旬は天気は周期的に変化した。13日から14日、19日から20日にかけて気圧の谷が通過して天気はぐずつた。低気圧の通過後は梅雨前線の活動が活発になつて、13日には奄美地方は平年より2日遅く梅雨入となつた。その後16～18日は移動性高気圧に覆われ晴れた。また、18日には各地で最高気温が 30°C を越えたところが多かつた。このように中旬は低気圧の影響で降水量は平年よりかなり多く、福岡の上・中旬の降水量は平年の200%を越えた。下旬の21～24日は全域にわたつて高気圧に覆われて晴れた。後半は低気圧と高気圧が交互に通過したが、全般に低気圧の影響が強くなり天気はぐずつて、まとまつた雨が降つた。このため月の降水量は北部で平年よりかなり多く、南部でやや少なかつた。日照時間は南部でかなり多く、北部では平年並～やや多かつた。

6月上旬半ば梅雨前線が種子島、屋久島の南まで北上して活動が活発になり、5日に九州南部地方は平年より4日遅い梅雨入となつた。その後8日から12日にかけて高気圧に覆われて晴れた。高気圧が東に去つたあと13日には低気圧の接近に伴い梅雨前線が北上して九州南岸に停滞して、九州北部地方は平年より7日遅く梅雨に入つた。その後は曇や雨の日が続き、16～17日にかけて九州

中・北部の各地で100～150mmに達する大雨が降った後、梅雨前線は南下した。下旬には再び梅雨前線は北上と南下を繰り返す、曇りや雨の日が続いた。24日には前線が台風5号の北上によって活動が活発になって、九州北部を中心に局地的に大雨が降り、浸水被害も発生した。また台風の影響で暖湿気が吹き込んだため各地で気温が上がり、福岡市の最高気温は32.9℃まで上がった。下旬末の30日には鹿児島県南部で100mmを越える大雨が降り、指宿では170mmを越えた。奄美地方は28日に平年より1日遅れて梅雨が明けた。

4. 遅い梅雨明けと少雨傾向の7・8月

7月に入っても梅雨前線は九州付近を南北振動しながら停滞して、前線の活動も活発で月の前半は各地で大雨が降った。また上旬は日本海の高気圧の停滞によって気温は平年より1～3℃低かった。10日には九州南部が高気圧の周辺部にあたり、大気不安定となって鹿児島市を中心に一時間降水量最大75mm、1日降水量192mmの局地的な集中豪雨があり、がけ崩れが多発して、死傷者のである大きな被害が発生した。中旬の前半は梅雨前線の南・北振動によって、14日から15日には佐賀県西部・中部、福岡県北部で大雨が降り、田畑の冠水、埋没の被害がでた。16～17日にかけて台風8号が沖縄近海を北上して種子島付近を東進した後、太平洋高気圧が強まって19日に九州南部地方は平年より4日遅く梅雨が明けた。梅雨前線は九州北部から朝鮮半島南部付近へ停滞して、九州北部地方の一部で大雨になった。その後太平洋高気圧も強まり、26日には梅雨前線は北上して九州北部地方も平年より8日遅く梅雨明けとなった。各県の梅雨期間の降水量は第1表に示されるように地域による差があった。梅雨期間(日数)は南部・北部地方とも平年と差がなかった。

第1表 梅雨期間の降水量

地点名	降水量	平年値	平年比
福岡	615.0	509.4	121
飯塚	764.0	562.6	136
佐賀	1088.5	624.9	174
長崎	629.5	612.7	103
佐世保	1045.5	603.3	173
熊本	733.5	748.1	98
人吉	726.5	850.6	85
大分	569.0	465.0	122
日田	909.5	618.8	147
宮崎	465.5	668.6	70
鹿児島	642.0	756.4	85
名瀬	249.5	722.8	35

注) 単位: mm, 平年比: %

梅雨明け後の夏型気圧配置は8月に入っても続き、太平洋高気圧に覆われて最高気温が30℃を越える暑い日が続いた。このため少雨傾向で、旬降水量が無降水または数mmのところもあった。しかし南部は上旬の前半高気圧の周辺部にあたり一時天気はぐずついた。中旬も全般的に太平洋高気圧に覆われて、晴れの暑い日が続いたが、旬の初めと終りに高気圧の周辺部にあたる福岡・北九州・

大隅地方でにわか雨や雷雨があった。下旬は寒冷前線の南下や低気圧の通過によって曇りや雨の日が続き、21日には寒冷前線の影響で九州中・北部の各地でまとまった雨が降った。24～28日は台風13号の影響で不安定な天気となり、宮崎では150mm前後の大雨が降った。26日には奄美南部は暴風雨となり被害をうけた。台風の北上によって九州本土でも影響がでて、28日には各地で風雨が強まり佐賀では最大瞬間風速23.9m/s(風向S)を記録した。鹿児島県、佐賀県等で農作物に被害を受けた。また、福岡では7月25日から8月21日までの28日間真夏日が連続したが、熱帯夜の継続は短かった。

月平均気温は全域で平年並、降水量は宮崎の平年並の他は、平年の50%で、枕崎、長崎では10～20%とかなり少なかった。

5. 秋雨前線の活発化と低温・少雨の9・10月

9月はじめは高気圧に覆われて各地で気温が上がり残暑となった。そのご秋雨前線が本州南岸から四国南岸沿いに発生して、九州付近に停滞して曇りや雨の日が多かった。9～10日には前線の活動が活発になり北九州沿岸で100mm前後の大雨が降って一部に被害がでた。17～19日には台風16号が台湾に接近して秋雨前線が再び活発になって降雨日が続く北部九州で大雨が降り、中旬は低温に経過した。下旬は勢力の強い高気圧に覆われて安定した晴れの日が続いた。このため朝夕の気温は下った。先島諸島では22～24日に強い雨が降った。また、上陸台風はなかった。

10月上旬は初めと終りに低気圧が日本海を通過したため、九州北部を中心に各地で10～20mmの降雨があった。また、長崎県北部では低気圧の影響による大気不安定でひょうが降った。その他の日は移動性高気圧に覆われて晴れたが、前線の影響でにわか雨も降った。中旬は低気圧の影響で天気は崩れたが、その後高気圧に覆われる日が多く晴れた、17～18日には冬型気圧配置となり寒気が入り、気温も低くなって季節変化への前触れが見られた、下旬は高・低気圧が短い周期で交互して天気は変化したが、全般に雨や曇りの日が多かった。28日には冬型気圧配置となり、寒気の流入もあって次第に冬型も強まり、30、31日には内陸部で気温が下がり初霜が各地で観測されて、飯塚では前年より27日早い初霜となった。

6. 少雨傾向続く11月と高温・多湿の12月

11月に入って気圧の谷や移動性高気圧が交互に通過して短い周期で天気は変化して、気温も全域で平年より1.1～2.2℃低目に経過したが、移動性高気圧に覆われる日が多く少雨傾向にあった。5日と6日は高気圧に覆われて放射冷却現象によって各地で冷え込み、最低気温も2℃前後まで下がり降霜があった。中旬の前半は気圧の谷の通過や前線が停滞し、南西諸島を中心に天気はぐずついた。後半は九州本土は全般に高気圧に覆われて晴れた。このため降水量は各地ともかなり少なく、大分では中旬の降水量0.5mm(平年32.2mm)と激少であった。23～

第2表 昭和61年(1986年)九州の気象, 平年値(1951~1980)との比較

項目		地名								福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	那覇
		福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	那覇								
平均気温℃	本	4.5	3.6	5.0	4.3	3.7	5.6	6.0	15.0	25.6	26.2	26.3	25.0	26.7	26.8	27.7	28.8
	年 平 年 差	-1.2	-1.4	-1.4	-1.2	-1.2	-1.2	-1.0	-1.0	-1.1	-0.5	-0.2	-1.0	-0.1	0.1	0.5	0.7
最高気温℃	本	7.8	7.8	8.3	8.6	8.2	11.3	10.4	17.8	29.0	30.4	29.5	28.5	30.9	31.0	31.5	31.7
	年 平 年 差	-1.6	-1.8	-1.6	-1.4	-1.7	-1.3	-1.8	-0.8	-1.6	-0.3	-0.1	-1.7	-0.2	0.2	0.2	0.7
最低気温℃	本	1.7	0.1	2.1	0.2	-0.3	0.8	2.0	12.4	23.0	23.2	23.8	22.3	23.5	23.8	24.8	26.5
	年 平 年 差	-0.6	-1.1	-0.9	-1.0	-0.6	-1.0	-0.4	-1.0	-0.5	-0.4	-0.1	-0.2	-0.2	0.1	0.9	-0.6
日照時間h	本	99.7	137.2	98.5	151.6	121.0	201.2	134.2	102.7	138.0	155.4	164.3	143.2	181.4	180.3	181.6	270.9
	年 平 年 比	1.13	1.28	1.07	1.16	1.08	1.20	1.08	1.31	0.86	1.01	0.93	0.86	1.11	0.94	1.03	1.37
降水量mm	本	26.5	49.0	45.0	16.5	26.0	22.5	68.0	105.0	400.0	661.5	231.0	249.5	328.5	176.0	411.5	51.5
	年 平 年 比	0.33	0.80	0.55	0.34	0.43	0.32	0.71	0.88	1.47	1.90	0.73	1.04	0.88	0.61	1.28	0.27
平均気温℃	本	4.7	4.1	5.1	4.2	4.2	6.5	6.7	14.6	27.8	27.6	27.9	26.9	27.8	27.0	28.0	28.3
	年 平 年 差	-1.7	-1.9	-2.0	-1.8	-1.9	-1.6	-1.5	-1.8	-0.5	0.2	0.4	0.3	0.3	±0.0	0.3	0.5
最高気温℃	本	8.1	8.9	8.5	8.5	9.6	12.3	11.5	16.9	31.9	32.8	31.8	31.5	33.0	31.1	32.3	31.3
	年 平 年 差	-2.3	-2.0	-2.3	-2.0	-1.8	-1.3	-1.8	-2.2	0.3	0.6	0.6	0.4	0.5	-0.2	0.1	0.7
最低気温℃	本	1.6	0.4	1.9	-0.1	-0.4	1.5	2.5	12.6	24.2	23.6	24.8	22.8	23.5	23.4	24.5	25.9
	年 平 年 差	-1.0	-1.5	-1.7	-1.7	-1.5	-1.5	-0.9	-1.3	0.3	-0.3	0.2	±0.0	±0.0	-0.2	0.4	0.3
日照時間h	本	128.0	152.9	127.5	169.6	161.2	212.4	170.4	61.3	(196.6)	244.3	262.0	257.8	257.3	224.1	215.5	112.8
	年 平 年 比	1.27	1.33	1.23	1.31	1.35	1.44	1.43	0.78	(1.04)	1.28	1.29	1.42	1.35	1.11	1.10	1.20
降水量mm	本	40.5	50.0	57.5	41.0	57.5	58.5	83.0	65.5	70.5	77.5	36.5	76.5	122.0	302.5	62.5	233.0
	年 平 年 比	0.55	0.67	0.66	0.57	0.74	0.63	0.78	0.56	0.40	0.41	0.19	0.42	0.65	1.10	0.30	0.90
平均気温℃	本	9.4	9.2	9.8	8.5	9.6	11.1	11.5	17.1	23.7	23.4	24.1	22.8	23.7	24.1	25.3	27.3
	年 平 年 差	0.1	-0.1	-0.3	-0.2	0.1	0.1	0.3	-0.9	0.3	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1	0.1	0.4	0.2
最高気温℃	本	13.4	14.4	14.0	12.8	15.0	16.2	16.1	19.8	27.6	28.1	28.0	26.9	28.4	28.2	29.4	30.0
	年 平 年 差	-0.5	-0.2	-0.2	-0.7	-0.3	-0.1	-0.4	-1.1	-0.1	-0.5	-0.1	-0.4	-0.7	-0.3	-0.1	0.1
最低気温℃	本	5.6	4.6	6.2	4.2	4.0	6.1	6.9	14.5	20.0	19.4	20.7	19.3	19.6	20.7	21.8	25.3
	年 平 年 差	0.7	±0.0	±0.0	0.3	0.1	0.2	0.8	-1.1	0.3	-0.3	-0.3	±0.0	0.1	0.3	0.8	0.4
日照時間h	本	170.4	187.0	170.6	189.3	187.2	199.3	170.4	113.9	144.0	159.1	150.7	136.7	150.8	140.6	144.6	194.5
	年 平 年 比	1.15	1.23	1.15	1.00	1.22	1.23	1.15	1.19	0.99	1.04	0.96	0.98	0.98	0.92	0.91	1.21
降水量mm	本	105.0	132.0	127.5	143.5	129.5	205.0	112.0	227.5	190.5	248.0	186.0	114.5	156.5	168.5	201.0	350.0
	年 平 年 比	1.11	1.27	1.23	1.65	1.23	1.55	0.76	1.58	1.02	1.36	0.86	0.46	0.91	0.56	0.95	2.10
平均気温℃	本	15.2	15.2	15.3	14.5	16.0	16.6	17.1	21.3	17.0	16.1	17.4	16.6	16.5	17.3	18.2	23.8
	年 平 年 差	1.0	0.6	0.3	0.7	0.9	0.8	1.0	0.3	-0.8	-1.7	-1.5	-1.0	-1.4	-1.3	-1.4	-0.5
最高気温℃	本	19.4	20.4	19.3	19.3	21.4	21.0	21.4	24.1	21.3	21.5	21.3	21.1	22.0	22.5	23.1	26.4
	年 平 年 差	0.5	0.3	0.1	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	-1.5	-2.1	-2.0	-1.2	-2.0	-1.5	-1.9	-0.6
最低気温℃	本	11.4	10.3	11.6	9.6	10.7	12.2	12.9	19.0	13.3	11.7	13.8	11.9	11.4	12.4	13.5	21.5
	年 平 年 差	1.6	0.5	0.5	0.5	1.1	1.0	1.5	0.4	-0.1	-1.4	-1.4	-1.4	-1.3	-1.7	-1.3	-0.5
日照時間h	本	171.5	156.6	147.1	185.2	169.6	158.7	146.9	131.5	178.8	196.4	186.7	180.1	201.6	209.2	202.3	157.8
	年 平 年 比	1.15	1.07	1.02	1.21	1.15	1.10	1.07	1.13	1.11	1.20	1.16	1.22	1.22	1.36	1.24	1.21
降水量mm	本	106.0	160.5	137.5	103.0	117.5	174.5	162.5	101.5	45.0	52.0	81.5	26.5	73.5	58.5	83.5	51.0
	年 平 年 比	0.73	0.78	0.68	0.72	0.62	0.78	0.63	0.60	0.45	0.57	0.79	0.20	0.85	0.29	0.77	0.27
平均気温℃	本	18.9	19.1	19.2	18.0	19.8	20.0	20.4	23.4	12.6	11.8	13.1	12.3	11.7	13.6	14.5	21.4
	年 平 年 差	0.5	0.1	0.4	0.1	0.6	0.7	0.6	-0.3	-0.1	-0.6	-0.6	-0.3	-0.6	-0.1	0.2	0.1
最高気温℃	本	23.2	24.3	23.0	22.2	25.1	24.8	25.2	26.1	17.0	17.0	17.0	16.8	17.1	18.4	18.8	23.7
	年 平 年 差	0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.3	0.9	0.8	-0.4	-0.6	-1.1	-1.0	-0.7	-1.4	-1.1	-1.3	-0.3
最低気温℃	本	15.4	14.6	15.7	13.7	14.7	15.5	15.8	21.6	8.4	7.3	9.6	7.8	6.7	9.2	10.2	19.3
	年 平 年 差	1.4	0.4	0.6	0.4	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	-0.4	-0.3	-0.2	-0.1	0.5	0.9	0.2
日照時間h	本	187.2	190.6	202.0	177.9	187.8	191.5	194.8	172.0	130.1	135.6	125.7	119.2	133.1	128.9	124.1	76.2
	年 平 年 比	1.12	1.19	1.25	1.11	1.16	1.30	1.39	1.48	1.00	0.97	0.94	0.88	0.92	0.86	0.85	0.79
降水量mm	本	240.0	261.5	271.0	206.5	241.0	322.5	231.5	137.5	30.0	21.0	18.0	5.0	22.0	44.0	35.5	120.5
	年 平 年 比	1.67	1.33	1.33	1.29	1.22	1.10	0.84	0.55	0.38	0.30	0.22	0.07	0.31	0.36	0.39	0.85
平均気温℃	本	22.9	23.1	22.6	22.4	23.5	23.6	23.9	26.5	9.6	8.5	10.0	9.2	8.4	10.1	10.9	18.4
	年 平 年 差	0.9	0.9	0.5	0.9	0.9	1.0	0.9	0.1	1.5	1.2	1.2	1.4	1.4	1.3	1.7	0.3
最高気温℃	本	26.9	28.2	26.2	26.7	28.3	27.8	27.8	29.0	13.4	13.2	14.0	13.8	13.8	15.9	16.2	21.0
	年 平 年 差	0.9	1.1	0.7	1.3	1.1	1.2	0.8	1.2	1.2	0.9	1.3	1.1	1.1	0.9	1.4	0.2
最低気温℃	本	19.7	19.5	19.8	18.6	19.5	19.7	20.9	24.5	6.0	4.4	6.4	4.5	3.0	4.5	5.7	16.0
	年 平 年 差	1.3	0.8	0.7	0.7	1.0	0.6	1.3	0.5	1.8	1.4	1.1	1.4	1.1	0.9	1.5	0.2
日照時間h	本	156.4	153.5	133.4	161.2	143.1	147.9	115.5	187.2	116.9	129.0	123.4	153.7	142.6	201.5	161.3	125.9
	年 平 年 比	1.13	1.16	1.00	1.26	1.08	1.12	0.98	1.31	1.17	1.12	1.24	1.16	1.17	1.25	1.21	1.44
降水量mm	本	220.5	446.0	400.0	325.0	434.0	308.5	325.5	120.5	94.5	72.5	94.5	41.0	91.5	67.0	110.5	15.5
	年 平 年 比	0.81	1.40	1.20	1.13	1.05	0.73	0.69	0.41	1.45	1.40	1.24	1.13	1.67	1.14	1.39	0.13

() 欠測あり参考値

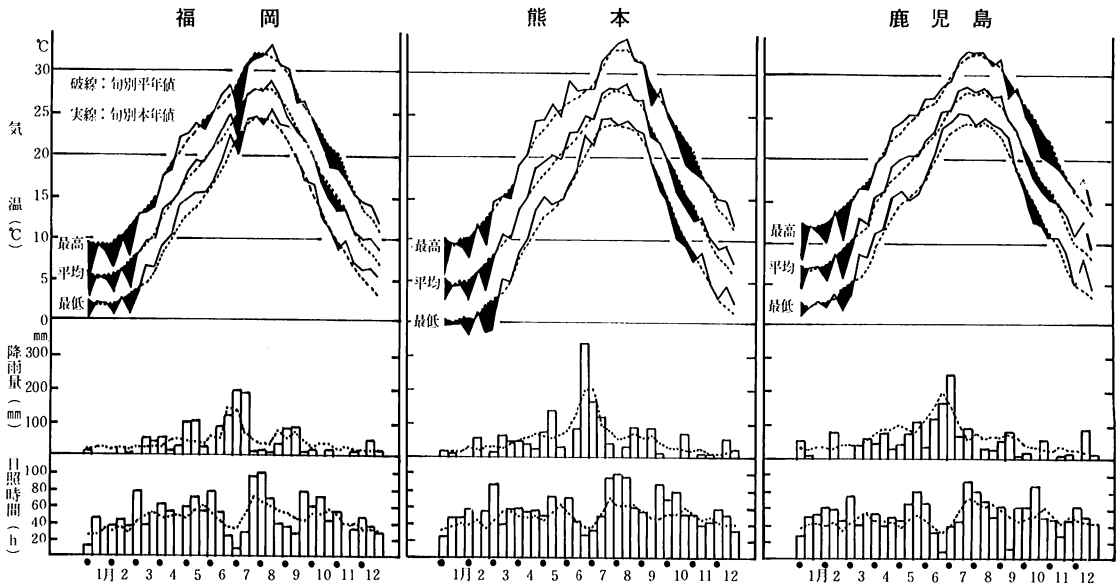
24日は九州南岸と日本海中部を低気圧が通過して南西諸島でまとまった雨となったが、九州本土では少なかった。29日には阿蘇山で平年より9日遅い初雪があり、30日は寒気の流れ込みが強く、平坦部でも初霜・初氷を観測されたところが多かった。

このような経過で月の平均気温は全般に平年よりやや低く、降水量は南部で平年の40%、その他は10~30%とかなり少なく、大分は平年の7%、南西諸島では平年の150%であった。

12月上旬は高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変化したが、少雨傾向は続いた。14日と18日には低

気圧が通過し、各地でまとまった雨が降り、北・西部および東部での少雨傾向も一息ついた。19日から20日は冬型気圧配置となって寒気が流れ込んだため山沿いで小雪がちらつき、福岡市では氷あられが降り、背振山では平年より15日遅れの初冠雪となった。28日には冬型気圧配置が強まり、中・北部の平坦部で初雪を観測したが、平年に比べて1~2週間遅かった。月を通して冬型気圧配置は各旬にあったが長続きせず月の平均気温は各地とも平年より高く暖冬気味に経過した。このため、厳冬期に向けて今後の気象推移が気懸りである。

(九州農業試験場環境第一部農業気象研究室)



第1図 九州の北・中・南部における気温・降水量・日照時間(旬別値)の変化 (太線平年値)